

# ★ まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

183号



2016年9月7日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

## ○ 緊急署名の報告

新航空ルートについて、8月10日から始めた緊急署名でしたが、お盆休みのさ中でもあり、一軒一軒廻ってお願いすることはせず、ところどころのお宅のポストをお借りして回収させていただきました。雨の中を届けて下さったり、お知り合いで10名分埋めて下さったり、1名で申し訳ありませんと書かれてあったり、本当に感謝です。常盤台の関係だけでも678筆以上も集まりました。

今回の署名は、は25日に都市建設委員会で審議された成増の岡本氏の陳情を補強するための緊急のものでしたが、板橋区全体では合計1415筆の署名が集まり、23日、区議事事務局に提出することができました。

25日の都市建設委員会の決定は、残念ながら圧倒的多数で継続審議(悠長な!)でしたが、追加署名は陳情が継続審議されている間は可能です。署名用紙が入用な方は事務局までご連絡ください。

### 秀島一生氏との勉強会

#### — 航空評論家の第一人者を招いて—

時 9月21日(水) 18時30分~  
所 「ギャラリー服部」

参加希望の方は事務局まで申し込んで下さい。30名まで。参加費 1000 円の予定

## ○ 常盤台駅舎の保存

大谷石をめぐり南宇都宮駅との関連が深く、その維持保存が心配されていた常盤台駅舎ですが、朗報が期待されています。次号で詳しくお伝えできると思います。

## ○ 羽田新航空ルートの問題

被害を受けるのは板橋区民だけではない

8月24日(水) 国交省から板橋区議会議員に対する新ルートについての説明がありました。いきなり航路の真下にされた板橋区としては、さぞかし白熱した議論になったか、と思えば、全部で1時間のうち、40分は国交省側の説明、20分が質問時間だったが、質問する議員が多かったため、ひとり1問に制限された。従って深い質問ができなかった、ということです。これは傍聴も許可せず、議事録も取らない非公開の説明会でした。区会議員も板橋区民もなめられているということでしょうか。

## ○ 誤報というやりかた

7月28日の「首都圏空港機能強化の具体化に向けた協議会」には新航空ルートそのものを了承する権限もないし、実際了承したわけでもない。「新航空ルートに関わる経費は国が負担する」ということを、自治体の一人の区長が了承した、というに過ぎないのだ。多額の費用を自治体におんぶするのではなく国が出してやるよ、というのだから、それは了承するだろう。しかし、その前提まで了承したわけではない。荒川区の区長も、前提が了承されないうちは何も言えない、と言うべきだった。メディアは国交省の思惑通り(?) あたかも新航空ルートそのものを自治体全部が了承したかのように報道してしまった。しかも誤報と分かった後も訂正はしない。誤報によって生まれた国民の漠然とした先入観はなかなか消えない。反対を主張していた人たちも諦めムードになる。姑息なやり方と言わざるを得ない。

こんなやり方を使って人々の知らない間に重要なことが決められているのかと思うと恐ろしい。特に不安なのは、こういう子供だましのような手口をマスコミが喝破できないでいることだ。

## ポストのはなし

この「まちづくりニュース」の配布協力の人たちは、一八二回も歩き回って皆さんの家のポストに入れて下さっていることになりました。全くのボランティアで、今まで慰労会をしたこともありませんが、愚痴も言わずいつも頭の下がる思いです。お金を使いアルバイトに頼むやり方もありますが、常盤台のためという住民の気持ちだけで続けているのです。今回は配布する人からの話です。

まずポスト自体がどこにあるのか探すのは、探検気分で面白いものです。木の茂みにひっそり鎮座していたり、全くどこにも見当たらず、仕方なく配布できないお宅もあります。ごく普通なのは横に口を開けているだけのものですが、蓋が付くと実にバラエティに富んできます。蓋を押すだけで入れられるのは簡単で、つまみが付いていて、押すのか引くのか分からないのがあります。押しダメなら引いてみな、で解決すると、今度はつまみをひねってからでないかと開かなかつたり、上から入れるのもあれば横からでないとか、箱根細工のような、どこをどう押せばよいのか頭をひねるものもあります。三分ほど取り組んでみましたが、あまり長くポストをいじっていると何かと疑われそうなので諦めてしまいました。ある家には洒落た木造の小さな門に鳥の巣箱のような趣の可愛らしい郵便受けがついていて、配達するたびに胸がほっこりしたものです。今、その家は無人となつてしまったようですが、門も郵便受けもそのうちに取り壊されてしまふのかと思うと、とても残念です。

## 大丈夫なの？オリンピック騒ぎ(2)

### \*金銭面

太っ腹な森元首相のもと、エコなはずの東京オリンピックが、野放図に膨れ上がり、2兆円とも3兆円とも平気な顔で言われるようになる、はたして今は裕福とは言えない国になっているの？と思つてしまいます。貧困家庭増加や格差拡大は？長野オリンピックの反省は？(長野県民は大盤振る舞いのオリンピック開催で今も税金に苦しんでいます。しかもオリンピックの会計は殆ど報告されなかったということです。)

国民も東京オリンピックの時のような、経済発展途上の時期とはまるで違う昨今の日本が、景気浮揚策としての一時的なイベントにかける巨額な費用とその後の維持費用負担には疑念を持っています。

### \*国家主義台頭の懸念

安倍さんと言えば、閉会式のマリオには驚きと同時に呆れてしまいました。日本のマスコミはお追従ばかりでしたが、世界ではどう受け取られたのでしょうか。ドイツでは「馬鹿らしい恰好」と報道されたそうです。格好はともかく、一国の首相が出てくる場だったのでしょうか。オリンピックは国家主義を排しているはず。開催は都市が主体、メダルの名誉は個人に与えられるべきもの。国家が得意ばるのを抑制しているのは、ベルリンオリンピックでのナチス台頭以来の反省からでは？あの感性では小池都知事の代わりにオリンピック旗を受け取りたかつたのかも。

## 平和公園のカルガモ

今年二羽いた子ガモが一羽になっていました。平和公園にも多いカラスにでも狙われたのでしょうか。実はこの子ガモは道に迷っていたのを保護されて、池に放されたところ。親ガモが空から見つけて一緒にあったのだそうです。

## 常盤台公園のはなづくり

駅前ロータリーの花壇に時々水をやっているYさんの話では、この渇水期に水のムダ使いだ、と言われたとか。その後やたらと雨が降るようになったので、そんな嫌な思いは無くなったでしょうけれど、心無い人はいるものです。

花壇の角のあたりは、夏枯れと言いますか、かなりみつもめない状態になっているので、苗を補充すべきかどうか迷っています。今の時期、新たに植え付けても、残暑の中を耐えてくれるか心配なので、せつかくマーマレードを買って頂いた資金を無駄に使うのもどうかと考えてしまふのです。

十一月にはまた苗や球根を植えつける時期になります。それまで来年の計画を立てたり、雑草取りをしているしかないのかも知れません。